

## 平成26年度 「酪農フィールド科学演習」 (8月26日～29日)は終了しました。



### 平成26年度「酪農フィールド科学演習」が開講されました

#### 1. 本授業開講の趣旨

本演習では、教育共同利用拠点の認定を受けた本農場(附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション)において、農学の基礎知識を有している学生が農場における日々の飼育管理作業を体験しながら草と家畜(特に乳牛)と土の循環の中でミルクや肉を生産し食品に加工していく過程を講義および実習を通して学ぶことで、「農業」と「食」の関わりについてより深く考えることを目指しています。

#### 2. 受講生

受講者の所属大学および学部、学科等別の人数は以下のとおりでした。

大学名	学部	学科	人数
鳥取大学	農学部	生物資源環境学部	6
岡山大学	農学部	総合農業科学科	4
広島大学	生物生産学部	生物生産学科	7
山口大学	農学部	生物機能科	3
		生物資源環境科	1
香川大学	農学部	応用生物科	3
愛媛大学	農学部	生物資源学科	6
計			30

#### 3. 講義および実習内容

日付	時間	内容
8月26日	13:00	JR山陽線 西条駅集合→広島大学西条ステーションへバスで移動
	14:40	農場案内、注意事項についての説明
	15:20	バスで研修センターへ移動
	16:00	演習ガイダンス
	17:00	入浴・夕食
	19:30	交流会
	21:00	課題テーマの説明と班員間での交流会
	22:00	就寝
8月27日	7:00	起床・洗顔・朝食→バスで西条ステーションへ移動
	8:30	「家畜の飼養管理と搾乳作業①」(120分) *管理作業
	10:50	「牧草・飼料作物生産と放牧の実際」(100分) *講義
	12:30	昼食・休憩
	13:30	「牛の胃のしくみを探る」(100分) *実習
	15:30	「乳牛と肉牛の遺伝的特性」(60分) *講義
	17:00	入浴・夕食
	20:00	発表準備
8月28日	7:00	起床・洗顔・朝食→バスで西条ステーションへ移動
	8:30	「家畜の飼養管理と搾乳作業②」(120分) *管理作業
	10:50	「搾乳した生乳を加工する」(100分) *講義+バターづくり
	12:30	昼食・休憩
	13:30	「乳牛の人工授精の実際」 *実習
	15:00	記念撮影
	15:25	農場技術職員への質問時間(50分)
	17:00	入浴・夕食
8月29日	7:00	起床・洗顔・朝食→バスで生物生産学部へ移動
	9:05	課題発表会(120分)
	11:05	終了書の授与・昼食・アンケート記入
	13:00	バスで西条駅へ、西条駅にて解散

#### 4. 演習の様子

平成26年度は、1、2年生の受講生が多く、農学系でも酪農実習は初めてという学生がほとんどでした。実習を通して、酪農全体について知識と理解を深めるだけでなく、広島大学西条ステーション(農場)の酪農における問題点と改善点を探り、最終日の課題発表会に向けて話し合いを行いました。



【2・3日目】「家畜の飼養管理」 牛に餌をやる



【2・3日目】「家畜の飼養管理」 放牧



【2日目】「牧草・飼料作物生産と放牧の実際」



【2日目】「牛の胃のしくみを探る」



【3日目】「搾乳した生乳を加工する」 バターづくり



【3日目】「搾乳した生乳を加工する」 農場牛乳と市販牛乳飲み比べ



【3日目】「乳牛の人工授精の実際」



【3日目】「乳牛の人工授精の実際」



【1～3日日夜間】発表準備



【4日目】課題発表会